

# 塩沢地区

# 育成会だより

## 第21号

塩沢地区青少年会部  
健全育成宣伝啓  
平成29年3月12日発行

子どもたちの  
無限の未来は



会長 桑原 博  
健全育成会  
塩沢地区青少年

日頃より塩沢地区青少年健全育成会の活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。最近特に新聞、テレビなどで青少年にかかわる悲しい事件、事例を見ない日がありません。いじめ、不登校、自殺、事故、虐待、貧困……。本当に毎朝、毎日悲しくさみしい気持ちになってしまいます。しかし、これらは今や知らない都会の話ではありません。いつこの地で起きてもおかしくないというのが現実だと危機感をもっています。

また、その一方ではスポーツを通して全中、インターハイで活躍する新潟県の子どものニュースが紙面を賑わしていました。文芸面でも春の歌会始に新潟の女子高生が選ばれ宮中の晴れ姿をテレビで見ることが出来ました。それはひとり一人の

無限の可能性をもった子どもたちが未来に向かつて、勉強し努力し頑張って挑戦し続けた結果だと思えます。

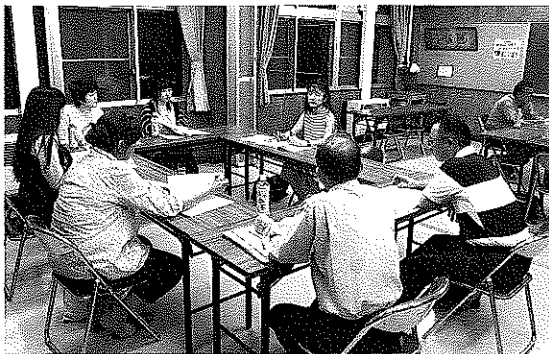
そんな子どもたちのために私たち地域の大人も「なにか自分のできることで一生懸命支えていきたい」と思いませんか。何をするか何ができるかは、自分にできること、小さなことでも結構です。子どもたちに向けてください。朝の通学班の子どもたちに「おはようー」帰りには「おかえりー」そんな声かけで大丈夫です。

未来は小さなことの積み重ねからだと思います。

これからも『子どもたちの健やかな成長のために』を合言葉に地域の皆様方の温かいご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。



第1回評議員会 (5月25日)



啓発宣伝部 (今年度の行事についての話し合い)

みんなで図書館へ



塩沢小学校 校長  
岡村 秀康

「この子はすごい。考え方、感じ方が違うぞ。」

長年教員をしていると、思わず感激するほどの子どもの発表や作文に出会うことがあります。(どうすると、こういう子が育つのだろう)と何度も思いました。

昨年、何人かの親御さんに伺うチャンスがありました。お聞きしてみると、共通していることが見つかりました。

まずは、「読み聞かせ」です。三ヶ月検診のブックスタートからずっと

読み聞かせをしてきた家庭、お母さんだけでなく、お父さんも読み聞かせを続けた家庭など、読み聞かせが一番でした。

もう一つは「読書」。どの子どももくさんの本を読んでいます。親が読み聞かせをしていなくても、本好きの子はいました。聞いてみると、親が本好きで、家にたくさんあるのだそうです。聞けば聞くほど、読み聞かせや読書の経験は子どもの成長に大きな影響があるようです。

しかし、よいと分かっているのに、実践することは難しいもの。そこで、お勧めしたいのが、開館三周年を迎える南魚沼市図書館です。来場者数は一月末で累計七十五万人。魅力いっぱい図書館です。奥にはキッズスペースもあり、幼児も小学生もたっぷり楽しめます。定期的に「絵本のへや」や「読書のつどい」などのイベントもあり、行くだけで本を手に取りたくなる場所です。ある家族は、みんなで貸出カードを作って、いつばいの本を借りています。そうすると、家がミニ図書館のようになり、子どもと一緒に本をゆっくり楽しめるそうです。

「子どもの学力は、十歳までの読書量で決まる」という本もあるほど、読書は大切です。ときには、家族一緒に図書館に出掛けてみては、いかがでしょうか。

# 育成事業部の活動

部長 高橋 明夫

育成事業部では春の野鳥観察、天文教室、しめ縄づくりの事業を行っています。

野鳥観察では専門講師のもと、多くの種類、鳴き声に毎回、楽しんで驚かされたりしています。早朝からなので子どもたちも最初は眠そうですが、終わる頃は目と耳はぱっちりとしているのが伝わってきます。去年聞いた鳥の鳴き声が聞こえないとちよつと心配になったりもします。新緑の中で耳を傾けてみませんか。

しめ縄づくりの前にはサポーター委員さんを中心に体育館をいっぱい使って、安全に配慮し思い切り身体を動かすチャレンジフェスティバルを行います。しめ縄づくりでは地域の愛好者のご指導をいただき、参加者それぞれ一本の立派なものを作り、自宅に持ち帰り新年に飾ってもらいます。手づくりの良さや、奮闘したことなど、家族の話題の一つとなつていくことと思えます。

みなさんのご参加をお待ちしています。



野鳥観察会 ～お話をよく聞いて～

# 野鳥観察会

坂戸山周辺

5月14日

いろいろな鳥を  
見つけた観察会

五年 南雲 美里

私は、この野鳥観察会に、一年生から五年間参加しています。今年はずらぬ鳥が見えたり、鳴き声を聞いたりすることができました。

お父さんと歩いていると、私のすぐ近くを、スズメの親子がとんでいきました。子スズメがとても小さくてかわいかったです。

さらに山の中に入っていくと、木に「オオルリ」がとまっていました。望遠鏡で見ると、青くてきれいな、宝石みたいな鳥でした。みんなが「すごい！きれい！」と言っていて、望遠鏡の後ろに列ができていました。

来年もまたこの観察会に参加して、たくさん鳥を見つけてみたいです。

あつ、その鳥、なんの鳥？

三分区 田村 愛里

皆さんは「オオルリ」をご存知ですか？雌は茶色、雄は目の覚めるような青色の美しい鳥です。今回の観



野鳥観察会 ～あ、見えた見えた～

察会ではしおりの表紙にもなっていて、私は初めて存在を知りました。当日の朝は晴れ、眠い目をこする私を尻目に鳥達は稼ぎ時とばかりに飛び回ります。理科センターの先生が近くの鳥から山の上の鳥まで目ざとく見つけ教えて下さいました。林の中でピピッと鳴けば、「あれは○です。」と姿のない鳥まで見つけられます。先生方に脱帽でした。観察会も終わる頃、「あつ！」と声をあげる先生。望遠鏡を覗くと鮮やかな青。オオルリです！姿もバツチリ、鳴き声も聞けました。これには皆感動。大満足で終了し、次回の期待も高まるものとなりました。

さてオオルリの鳴き声とは？是非ご自分の耳で確かめて下さいね！

# チャレンジ フェスティバル& しめ縄づくり

PTA主日サポーター共催事業

11月6日



立派なしめ縄ができました

しめ縄づくりに参加して

吉里 貝瀬 あずさ

休日など、天気の悪い日は、家でゲームやテレビばかりになりがちですが、親では経験させてあげられないしめ縄づくりを体験する事ができ子ども達もとても楽しんでいました。

今は核家族が増えており、地域のお年寄りの方とも交流できてよかったです。とても丁寧に教えていただきありがとうございます。また次回も参加できたらよいと思います。

# チャレンジフェスティバル&

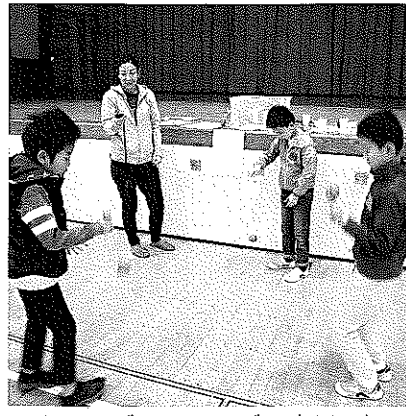
## しめ縄づくりに参加して

中割 田 政 晴

子どもに色々な経験をさせたいと思ひ、参加してみました。

チャレンジフェスティバルでは、けん玉、こま回し、輪投げ、紙飛行機づくりなど昔なつかしの遊び道具で記録会をしました。一緒に頑張りましたが、子どもたちにはかないませんでした。

しめ縄づくりでは、まず一本のわらを三等分にしてそれぞれねじり、出来上がった三束を再び一本にねじっていくのですが、これがなかなか上手に出来ず、しめ縄づくり名人に教えていただきながらようやく一本、作りあげることができました。不格好でしたが、自分の作ったしめ縄で新年を迎えてみるのも良いものだと感じました。貴重な体験をさせていただきました。



チャレンジフェスティバル (けん玉)

臨沢地域7地区育成会合同事業  
**ZAWAMON!GO**  
 〓 太原運動公園 〓  
 10月23日

### 楽しかった

## ZAWAMON!GO

三年 堀 部 秀 悟

ほくは、ポケモンが大好きなのでお父さんと妹と三人で「ザワモン!GO」にさんかしました。

他の小学校の人たちと五人でチームを組みました。チームのみんなと大原運動公園の中を歩いて、スマホを使ってポケモンをさがしました。前半は七ひきしかつかまえられませんでした。休けいでおやつを食べ

て、後半は、十三びきつかまえました。二時間くらい歩いてつかれたけれど、楽しかったのでまたやってみたいなあと思いました。

## 天文教室

十月六日に計画していた「天文教室」六日は曇天のため、予備日の翌七日に延期となりました。準備の段階では南の空に上弦の月がきれいに見えていたのですが、開始予定時刻が近づくにつれ、みるみるうちに雲が広がりました。開始予定時刻ぎりぎりまで雲が切れることを祈っていました。涙をのんで中止となりました。来年にご期待を。

## 地域子ども会部の活動

### 今年度の主な活動

- 地域子ども会連絡会  
六月二十九日
- 交通安全ストップマークの貼付  
九月二十三日
- 子どもを見守るボランティア会議  
九月二十三日
- 各地区民生・児童委員との連携

### 子ども会の活動を通じて

上十日町子ども会 布 施 生 子  
 上十日町子ども会は、例年、春秋の廃品回収、夏のラジオ体操と最終日のゴミ拾い、夏休み行事やお泊まり会などの活動を行っています。今年度のお泊まり会では、地域児童会で子ども達が話し合った計画のもとに、上十日町公民館で六年生が中心となり、カレーづくりやスイカ割、肝だめし、花火などを行い子ども達の交流を深めることができました。

また、毎年夏には神社のお祭りでの子ども神輿、冬にはさいの神といたった地域主催の行事に参加させて

いただき、伝統行事を体験する良い機会となっています。

こういった様々な活動を行ったり子ども達が安全に日々の生活を送れるのも、子ども会の会員の皆様や通学路見守りボランティアの皆様、地域の皆様のご支援、ご協力があるからだと実感した一年となりました。

### 少子化に伴いこれからの子どもたちは

二分区子ども会 室 橋 江梨子  
 二分区子ども会の今年度の人数は八名と年々減少しており、来年度は七名、再来年は四名と、とても少ない人数となっています。

子ども会の地域行事でも少ない人数で行うのには限界があり、子ども会を維持していくことも難しく厳しい状況であります。

また、夏には塩沢祭りがあり、子ども神輿がありますが、子どもが少ないため大半が大人が担いでいる状況でした。せっかくの地域の方々と接する機会も、少子化により様々な問題ができています。今後子ども会だけではなく、地域全体としても大きな問題として捉え、活動していく必要があるのだと思います。これからの未来のある子どもたちを地域の皆様からも支えていただき、ご協力をお願いいたします。

# 地域環境整備部の活動

## あたたかい言葉に感謝

部長 高橋 守

本年も沢山の標語をいただきました。ありがとうございます。

今年、「あたたかい言葉があふれる塩沢に」というテーマで、夏休みの頃、新聞チラシと子ども達への配付文書で募集しました。

九月十六日に学校の会議室で桑原会長、校長先生、教頭先生、地域環境整備部の役員の皆様と慎重審議したところ、里帰りをしていた東京都青梅市の保坂あずさんの「ありがとう そのひと言が大事だよ」を選びました。わかりやすいあたたかい標語だと思います。

看板は、上越国際スキー場の駐車場の道路側に立っています。近くに行った時は是非ご覧下さい。塩沢の五ヶ所に大看板がありますが、どの標語もすばらしいと思っております。来年も募集しますので沢山の皆様から標語をお待ちしております。ご協力ありがとうございます。深く感謝を申し上げます。

## 魔法の言葉

東京都青梅市 保坂 あずさ

この度は大看板標語に選んでいただきありがとうございます。遠く離れた所に住んでおりますが、実家に帰省した際には見に行きたいと思えます。

「ありがとう」たった五文字ですが、言う側も言われる側も心がホッとあたたかくなる魔法の言葉だと思います。相手に何かしてもらったお世話になったりしたら、しっかりと感謝の気持ちを言葉にして伝える事ができ、そしてありがとうと自然に言える塩沢の子どもがいつぱいになってくれたらうれしいです。

周りもどんどん明るくなるし楽しくなれる魔法の言葉。我が家では、今日もそんな魔法の言葉が聞こえてきます。



上越国際スキー場前の大看板

## 子どもを見守る ボランティアの方から

### 大きな声で

三分区 内藤 貞治

毎日、うちの畑の前で子どもたちを見守っています。朝ご飯をいっぱい食べた子、まだちょっと眠たそうな子、大勢通ります。「おはようございます」と声をかけると、小さな口から大きな声で「おはようございます。」と返ってきます。

朝の挨拶は気持ちのよいものです。高学年の子どもたちは、低学年の子どもたちが渡り終えるまで面倒みています。

大きな声で挨拶すれば、朝の新鮮な空気を沢山体に取り入れ、脳が力いっぱい働きます。体も丈夫になります。挨拶は相手に気持ちを通じます。地域の多くの人が、大きな目で、やさしく見守っています。

## 新米「ボランティア」参上

目黒田 州崎 裕子

「おはようございます」と、さわやかな挨拶。声かけにコクリとうなずいて行く子どもたち。上級生は低学年の様子に気を配り、登校する姿はとても頼もしく「ああ、良い子た

ちだ」とうれしくなる。

昨年春まで毎朝、時間に追われ車を運転していた私は今、「子どもを見守るボランティア」の新人だ。

週一回、朝二十分程の見守り活動ではあるが子どもたちが「あつ、あのおばさん見たことある」「知ってる」と少しでも安心感をもってくれる存在になれたら良いなと思ってる。この地域の人々は、肩書きなどなくても皆が「見守り隊」だ。

## 子どもを見守るボランティア 募集中!

子どもの見守り活動に参加しませんか? 週に一度玄関前に立つてみよう、散歩しながら子どもに声をかけてみよう、そんな気軽な気持ちでご参加いただければ幸いです。ご協力いただける方は、いつでも小学校にお電話ください。(塩沢小学校 且78210070)

## 編集後記

塩沢地区青少年健全育成会にご協力いただきましたありがとうございます。毎朝ボランティアの方々から子ども達の登校を見守って下さっている姿を横目に頭の下がる思いです。子ども達も笑顔で挨拶しています。こんな地域ですばらしいしありがたいなあと思っています。

地域の皆様が一丸となって元気な楽しい塩沢地区応援団となっております。ありがとうございます。

啓発宣伝部長 石坂 幸子